

くまびょう

131号

NEWS

くまびょう
NEWS2008年
5月1日

[発行所]

国立病院機構熊本医療センター

〒860-0008

熊本市二の丸1番5号

TEL (096) 353-6501(代)

FAX (096) 325-2519

院長に就任のご挨拶



院長
池井 聡

平成20年4月1日付けで院長に就任致しました。仕事の重要性、責務の重大さをおもいと身の引き締まる思いです。宮崎前院長は平成4年に全国の国立病院・療養所が大幅な赤字で統廃合の嵐の吹

き荒れる中に院長に就任し、以来16年間にわたり先頭にたって病院の改革を押し進め、当時は考えも及ばなかった国立病院での開放型病院を実現させるとともに、いち早く地域医療支援病院の認可を得て地域医療連携を軌道にのせ、現在の国立病院機構熊本医療センターに育て上げました。これは開放型病院登録医の先生方の協力とご指導があったからこそと感謝申し上げます。

この4月は院長に加えて事務部長、看護部長、臨床研究部長が交代し、また医師も約30名が入れ代わりましたが、診療に支障を来すことの無いよう努め

てまいります。幸いにも呼吸器科、神経内科、血液内科で医師の増員が得られ、医師スタッフは一段と充実してきました。また看護師も多数就職してくれました。新病院の建築も着々と進んでおり、平成21年9月末には新病院での診療を開始する予定です。工事の関係でしばらくは地域医療研修センターが手狭になりますが、研修会、勉強会はこれまで以上に活発に行う所存です。また駐車場、騒音等で多々ご迷惑をお掛けしますこととお詫び申し上げます。工事期間中も医療の質を向上させるために必要な医療機器は前倒しで整備していきます。ソフト、ハードの両面で充実した医療機能を維持して、先生方のご指導のもと医療連携を活発にしていきたいと存じます。これからも前院長のかかげた「良質で安全な医療の提供」「医療連携の推進」「救急医療の充実」を継続して実践し、登録医の先生方とともに熊本の医療に貢献出来るように努力致します。今後ともよろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。

国立病院機構熊本医療センターは

- 1、最新の知識と医療技術をもって良質で安全な医療を提供します
- 2、人権を尊重し、愛と礼節のある医療の実践を目指します
- 3、教育・研修・研究を推進し、医学・医療の発展に寄与します
- 4、国際医療協力を通して世界人類の健康に貢献します
- 5、健全経営に努め、医療環境の向上を図ります





「検査データ、緊急で出しといて」

小野・出来田内科医院
院長 小野 俊一

月曜から、腹痛下痢が続いていた12歳女の子。木曜になっても、まだ腹痛が続いているということで、当院受診。昨晩は、38.5°まで上昇していたとのことだが、現在は37.5°の微熱。下腹部全体が痛いらしく、あんまりはっきりしない。反跳痛もあるような感じ。ご家族の希望もあり、抗生剤の点滴を実施。そこで、出たのが冒頭の言葉。本人は、点滴終了後、おなかも痛くなくなったと一人で帰宅する。

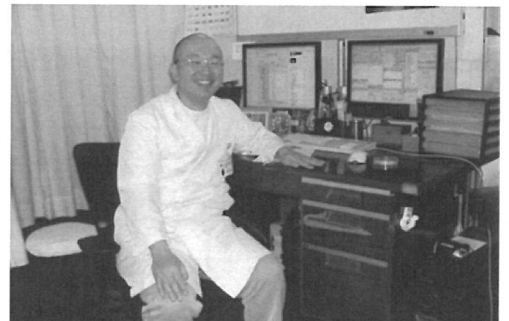
1時間後、戻ってきた検査データは、WBC14,700/ μ l、CRP10.7mg/dlと虫垂炎を疑ってもおかしくない値。自宅にあわてて電話するが本人以外は、誰もいない。保護者の連絡先もわからない。困った。…学校に電話をかける。「〇〇医院ですけど、そ

らの生徒さんの××さんを国立病院機構熊本医療センター紹介したいので、保護者の方に連絡を取って頂けますか。こちらの電話番号は×××です。お願い致します。」…個人情報保護法の影響で、連絡を取るにも気を遣う。…ようやく連絡が付き、国立病院機構熊本医療センターの外科の先生に迷わず連絡。「所見ははっきりしませんが、虫垂炎疑いで12歳の女の子です。受け入れて頂けますか？」…夕方の6時頃、国立病院機構熊本医療センターから「これから緊急手術になります。ご紹介ありがとうございます。」と電話が来る。ああよかった。

翌日、国立病院機構熊本医療センターへ。担当の先生から、所見が乏しく、手術の判断に迷った。エコー、CTの所見をもとに内視鏡的に手術をしたところ、ウミが出ており、癒着もあったとのこと。…

申し遅れました。昨年4月に義父の内科医院を継承開業致しました小野です。国立病院機構熊本医療センターからはタクシー初乗りの距離に位置しています。いつも患者さんも快く受け入れて頂き、また逆紹介もして頂き、開業して本当に心強く思っています。

これからもどうぞよろしく申し上げます。



地域がん診療連携拠点病院に指定される

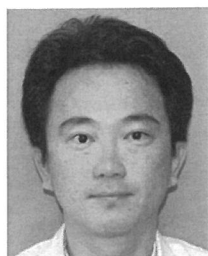


副院長
河野 文夫

我が国の総合的ながん対策につきまして、政府は「がん対策推進基本計画」を平成19年6月15日に閣議決定し、がん診療対策が国家的に総合的かつ計画的に推進されることになりました。これを受け、熊本県は、都道府県がん診療連携拠点病院を都道府県に1カ所、地域がん診療連携拠点病院を2次医療圏に1カ所整備することになりました。当院は、本年2月8日に地域がん診療連携拠点病院（熊本市及び鹿本圏域を担当）として指定を受けました。当院は、以前より、入院患者様の中でがんの割合が高く、がんセンターとしての機能を果たしてきました。そして、当院でのがん治療をより効率的に行う集学的治療を実践するために、開放型病院登録医の先生方に

もご参加を頂いております“熊本がんフォーラム”を定期的に開催しています。また、これまで行ってきま

ましたがん診療につきましての取り組みは、1) 外来でのがん化学療法を行うための外来化学療法室の整備 2) 患者様の疼痛緩和を目的とした院内横断的な緩和ケアチームの実働開始 3) がん診療の病病連携・病診連携の協力体制のための当院独自のクリティカルパスの実用化 4) セカンドオピニオンの提示体制の整備 5) 専門的ながん医療を提供するための治療機器及び治療室（無菌室等）の設置 6) 医師を対象とした緩和ケアに関する研修の定期的な実施 7) 院内がん登録の実行 8) 日本臨床腫瘍学会研修施設としての認定 などです。今後はさらにより質の高いがん診療が行えるよう、がん診療専門スタッフのさらなる育成、最新のがん診療医療設備の充実とともに高度先進医療への取り組みなど、一層の努力を致す所存でございますので何とぞよろしくお願い致します。



瀧 賢一郎

麻酔科一般、集中治療
ペインクリニック

日本麻酔科学会専門医
日本麻酔科学会指導医



宮崎 直樹

麻酔科一般、救急医療

日本麻酔科学会専門医

診療内容と特色

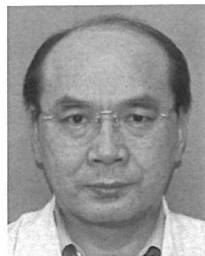
1. 手術室・麻酔

手術内容は、総合病院としてあらゆる臓器への手術が可能になっています。なかでも内視鏡下の手術（外科、耳鼻科、泌尿器科、産婦人科）が多いのが特徴です。また骨髄移植の技術を利用した閉塞性動脈硬化症患者への血管新生療法や形成外科開設により各科との連携のもとで皮膚による食道再建などの新しい形成治療法が選択できるようになりました。他にICU、透析室の完備を背景に外傷、急性冠不全、脳出血などの救急医療（緊急手術）や患者様の要求に応じた日帰り手術にも万全を期して取り組んでいます。

一方、高度な麻酔管理として呼吸・循環モニター装備は、もちろんとして最近 BIS という麻酔深度計（脳波計）を導入して麻酔の確実な保障を行っています。

2. 麻酔科外来（ペインクリニック）

種々の痛みに対して神経ブロック療法を中心に診療していますが痛みが局在的であり出血傾向がないことが適応になります。補助療法として向精神薬・麻薬・漢方薬などの内服を併用して患者様の痛みと病む心の緩和医療を行っています。最近、抗凝固療法をされて



江崎 公明

麻酔科一般、救急医療

日本麻酔科学会専門医
日本麻酔科学会指導医
日本救急医学会救急科専門医
日本救急医学会九州地方会評議員



上妻 精二

麻酔科一般、ペインクリニック

日本麻酔科学会専門医
日本麻酔科学会指導医

いる患者様が多く内服療法の患者様が多くなっています。带状疱疹後神経痛にたいする疼痛緩和療法として麻薬であるリン酸コデインによる内服療法による治療実績が集積されています。

外来日：水（宮崎、江崎）、水（上妻）、金（瀧）

痛みの相談（主に水曜日）…慢性難治性疼痛、带状疱疹および疱疹後神経痛、腰下肢痛、癌性疼痛、手術前麻酔相談、ボツリヌストキシン療法

3. ICU（瀧室長）

術後および救命救急センター外来からの重症患者を管理しています。

診療実績

手術室7室（ベッド9台）を使って麻酔専門医4名、看護師25名のスタッフのもとで年間約4,100例（麻酔管理症例約3,200例、緊急手術530例）の手術を行っております。

平成18年の外来診療件数は1,311件でした。

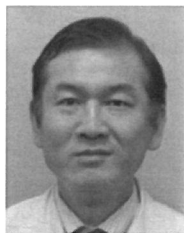
研究実績

手術室における職業感染防御に関する研究（平成19年度国立病院機構共同臨床研究）

ご案内

平成18年より水曜日の午前中に眼瞼痙攣、顔面痙攣に対するボツリヌストキシン療法を行っております（上妻）。

新任職員紹介



臨床研究部長

は が よし お
芳 賀 克 夫

4月より臨床研究部長を拝命しました芳賀でございます。当院に赴任して、早10年が過ぎましたが、ここ3年間は福岡市にある国立病院機構本部九州ブロック事務所で主に行政の仕事をしておりました。久しぶりの病院勤務で、病院の変貌ぶり、特に、電子カルテやオーダーリングシステムなどのIT化に戸惑うばかりですが、病院を外から眺めていたブロック

事務所での経験を生かして頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

国立病院機構の使命は、患者様の目線に立った医療の提供とともに、質の高い臨床研究の推進であります。臨床研究部長の役目は当然後者にありますので、当院から質の高いエビデンスを世界に向けて続々と発信できるよう努力していきたいと思っております。また、その研究成果を臨床現場にフィードバックし、診療レベルの向上に繋がっていく正のサイクルを回せればと考えております。前任の河野副院長と比べると誠に力不足ではございますが、当院が地域から信頼される教育病院として認知されるよう尽力してまいります。



事務部長

い さか やす とし
井 坂 安 利

4月1日付けで事務部長を拝命致しました井坂でございます。

国立病院機構熊本医療センターは、国立病院の146病院ある中でも、診療内容・経営状況・地域医療機関との連携など、あらゆる面で充実した病院であると聞いており、その一員として勤務させて頂きまことは光栄であり、かつ、その責任の重さを痛感しております。

当院の運営方針であります「良質で安全な医療の提供」、「政策医療の推進」、「医療連携の推進」、「教

育・研修、臨床研究の推進」、「国際医療協力の推進」及び「健全な経営」、その充実が県民から信頼され、職員も安心・生き甲斐を持って働ける病院であると考えております。

特に地域の医療機関との連携、教育・研修につきましては、地域の医療機関のご協力を頂き、更に充実するよう事務部としてもできる限り協力させて頂きたいと思っております。

また、当院にとって、本年度は平成21年9月末からの新病院での診療開始に向けての準備の年でもあります。国立病院機構全体にとっても、21年4月から制度改正を含めた新たなスタートの年でもあります。本年度はその準備の年となり、特に重要な年であると認識しております。

今後、池井院長のもと微力ではありますが、病院の発展に精一杯努力してまいりたいと思っております。



看護部長

い し ばし かおる
石 橋 薫

4月1日付けで嬉野医療センターより看護部長として参りました石橋でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

熊本医療センターは救命救急センターをもつ超急性期の病院であり、クリティカルパスでも全国で有名な病院です。また、病院の健全経営に努められそ

の経営状況も充実していると聞いております。このような病院で勤務できることを光栄に思うと同時に責務の重さに大変緊張しております。私に課せられていることは、これまで築いてこられたよい伝統を守りながら、新病院に向けて今以上に看護の質を高めていけるように、そして、看護師が専門職業人として誇りをもち自律して働くことができるように支援し、調整していくことだと理解しています。

微力ではございますが、努力していく所存ですので、どうぞよろしくご指導くださいますようお願い申し上げます。

新任職員紹介



呼吸器センター

呼吸器内科医長

かしわ ばら こう すけ
柏 原 光 介

2008年4月より呼吸器内科で勤務させて頂いている柏原です。1985年に防衛医科大学を卒業し、1987年より自衛隊北熊本駐屯地の第8師団第8衛生隊と自衛隊熊本病院内科にて6年間は自衛隊医官として勤務しました。自衛隊退職後は1993年から防衛医大の恩師に誘われ東京医科大学第5内科で勤務し

学位取得の後、1999年より熊本大学医学部呼吸器内科（旧第一内科）に入局致しました。球磨郡公立多良木病院呼吸器科で7年半の地域医療に従事した後、2007年10月より1年半の大学病院勤務を経験致しました。

今回、国立病院機構熊本医療センター呼吸器内科に着任し第一線の救急病院で働けることを誇りに思っています。肺癌をメインにやってまいりましたが、呼吸器疾患全般を網羅できる臨床内科医を目指すと同時に、若手の教育を行っていきたくと考えています。皆様、よろしくお願ひ申し上げます。



外科

た もり やす ひろ
多 森 靖 洋

4月より外科で勤務させて頂くことになりました多森靖洋と申します。

1993年に熊本大学医学部を卒業し、熊本大学第2外科（現消化器外科学）教室へ入局致しました。その後、済生会熊本病院外科、熊本中央病院呼吸器科、

牛深市民病院外科、熊本大学附属病院第2外科、済生会熊本病院外科（2回目）、玉名中央病院外科へ行って参りました。

この度、国立病院機構熊本医療センターへ勤務させて頂くこととなり、微力ではございますが、今まで学んで参りましたことを生かして、精一杯頑張りたいと存じます。

また、新たに色々なことを学ばせて頂こうと思えます。色々を御迷惑をお掛けすることもあるかとは思いますが、御指導、御鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。



心臓血管センター

心臓血管外科

かた やま ゆき ひろ
片 山 幸 広

4月より心臓血管外科勤務となりました片山幸広と申します。

1998年に熊本大学第一外科に入局しました。1年間大学での研修を終えた後、八代市立病院外科に勤務しました。2年間外科全般のトレーニングを行ったのち、3年目より心臓血管外科医として、熊本市

民病院に2年間、熊本大学附属病院に1年間、熊本赤十字病院に1年間勤務致しました。

2004年より熊本大学大学院に入学し、心臓血管外科学教室にて虚血生疾患に対して、強力な血管新生因子であります塩基性線維芽細胞増殖因子（bFGF）の心筋内投与による冠血管新生療法の臨床研究に従事しておりました。

久しぶりの臨床復帰で、張り切っております。心臓血管外科の診療と共に救急外来での勤務も努力していく所存です。何卒、御指導・御鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

■原稿を募集致します■

登録医の先生の投稿を歓迎致します。400～800字程度を基準にお願ひ致します。

送付先 〒860-0008 熊本市二の丸1-5

国立病院機構熊本医療センター 『くまびょうNEWS』編集室まで

新任職員紹介



麻酔科

みやざき なおき
宮崎直樹

お世話になります。

4月より麻酔科に勤務させて頂くことになりました宮崎直樹です。2001年に熊本大学麻酔科学教室に入局し、8年目になります。大学病院での研修終了後は水俣市立総合医療センター、熊本労災病院にて

勉強致しました。特に気道確保、周術期経食道心エコー法を専門としています。水俣、八代に長期間勤務していましたので久々の熊本市内勤務ということになります。やっと麻酔科医不足から解放されるかと期待しましたがそうは現実には甘くないようです。当院も状況は厳しいようです。2007年の年間麻酔科管理症例数は麻酔科医師4人で約3,200例ですので400例につき1人の麻酔科医師が適当とされる中で4人不足していることになります。現実には厳しいですが気を引き締めてできるだけ頑張りますのでよろしくお願い致します。



呼吸器センター

呼吸器内科

おかもと ともひさ
岡本知久

2008年4月より呼吸器内科で勤務させて頂くことになりました岡本知久と申します。

私は2004年に久留米大学医学部を卒業し、卒後臨

床研修を済生会熊本病院にて2年間行いました。初期臨床研修終了後の2006年4月に熊本大学医学部附属病院呼吸器内科に入局致しまして、2006年10月から2007年9月までの1年間は、熊本大学附属病院のICUで勤務を行いました。

今回、柏原先生、森山先生とともに赴任させて頂き、まだまだ若輩者ではありますが呼吸器内科医として成長できるよう日々精進したいと思っております。

宜しくご指導ご鞭撻の程を宜しくお願い申し上げます。



心臓血管センター

循環器科

かなざわ ひさのり
金澤尚徳

本年4月より循環器内科医として赴任することになりました金澤尚徳と申します。

国立病院機構熊本医療センターの近くである熊本市島崎にて育ち、県立熊本高校を卒業後、大分大学医学部へ進学し、卒業後再び熊本へ帰って参りました。熊本大学医学部附属病院群にて卒後臨床研修を開始し、1年目に当院にて内科全般、外科、救急、麻酔科に関する初期研修をさせて頂きました。2年目は大学病院へ戻り精神科、産婦人科、小児科、呼

吸器内科にて研修を重ね、3年目より循環器病態学を専攻するため、熊本大学医学部附属病院循環器病態学講座、小川教授のもとへ入局し、大学病院にて循環器全般に対する診療に携わって参りました。まだ医師としては4年目の身ではありますが、この度再び当院にて研鑽を積むこととなりました。

当院は急性冠症候群をはじめ、心不全、不整脈疾患などその症例数も豊富で、非常に多くの経験を積むことができると考えております。

また救命救急センターでの当直業務においては医学全般に携わるため、プライマリーケア医としての修練にもなるかとは存じますが、1症例1症例、真剣に取り組んでいく所存ですので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

ホームページをご利用下さい。診療、研修、研究など情報満載です。

くまびょうNEWS55号から継続して掲載されています

国立病院機構熊本医療センター ホームページアドレス <http://www.hosp.go.jp/~knh/>

研修のご案内

第81回 三木会（無料）

（糖尿病、高脂血症、高血圧を語る会）

〔日本医師会生涯教育講座3単位認定〕

〔日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位＜2群＞0.5単位認定〕

日時▶2008年5月15日（木）19：00～20：45

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

情報提供「胆汁排泄型持続性ARBミカルディス」

座長 国立病院機構熊本医療センター内科医長 豊永 哲至

特別講演「心血管病阻止を目指した2型糖尿病の治療戦略 —ONTARGET試験の知見も含めて—」

久留米大学医学部 糖尿病性血管合併症病態・治療学講座 准教授 山岸 昌一先生

なお、興味のある症例、疑問・質問のある症例がございましたら、お持ちいただきますようお願い致します。

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター内科部長 東 輝一郎 TEL 096-353-6501（代表）内線705

第222回 初期治療講座（会員制）

〔日本医師会生涯教育講座5単位認定〕

日時▶2008年5月17日（土）15：00～18：00

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

「血管疾患の診断と治療」

座長 熊本市医師会 室原 良治

1. 末梢血行障害の診断と治療 国立病院機構熊本医療センター心臓血管センター循環器科医長 藤本 和輝
2. 大動脈解離の診断と治療 国立病院機構熊本医療センター心臓血管センター心臓血管外科医長 毛井 純一
3. 器材供覧

この講座は有料で、年間10回を1シリーズ（年会費20,000円）として会費制で運営しています。但し、1回だけの参加を希望される場合は会費5,000円で参加いただけます。

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501（代表）内線263 096-353-3515（直通）

第112回 月曜会（無料）

（内科症例検討会）

〔日本医師会生涯教育講座3単位認定〕

日時▶2008年5月19日（月）19：00～20：30

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

1. 呼吸器内科による胸部X線写真供覧

国立病院機構熊本医療センター総合医療センター呼吸器内科医長 柏原 光介

2. 症例呈示「急性発症の運動障害で搬送された73歳男性」

国立病院機構熊本医療センター脳神経センター神経内科 万江由希子

3. ミニレクチャー「炎症性腸疾患について」

国立病院機構熊本医療センター消化器病センター消化器科 尾上 公浩

日頃、疑問の症例、興味のある症例、X線写真、心電図等がございましたら、ご持参下さいますようお願い致します。

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター内科部長 清川 哲志 TEL：096-353-6501（代表）FAX：096-325-2519

第90回 救急症例検討会（無料）

日時▶2008年5月28日（水）18：30～20：00

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

テーマ：症例検討「腹痛」

医師、薬剤師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、栄養士、救急救命士、救急隊員、事務部門等全ての医療従事者を対象とした症例検討会です。医師以外の方にも理解できるよう配慮した内容にしています。

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501（代表）内線263 096-353-3515（直通）

2008年 研修日程表 5月

国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

5月	研修ホール	教育研修棟4階	その他
1日(木)			7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 代謝内科カンファレンス M
2日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
7日(水)			
8日(木)			7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 代謝内科カンファレンス M
9日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
10日(土)	14:00~16:00 第205回 滅菌消毒法講座《会員制》 「洗浄について」 山鹿市立病院第一種滅菌技師 藤井 裕		
12日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
13日(火)	19:00~20:30 熊本県臨床衛生検査技師会 一般検査研究班月例会	18:00~19:30 血液病懇話会(会)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前術後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ 19~21 泌・放射線科合同ウログラム C
14日(水)	18:00~19:30 第52回 国立病院機構熊本医療センタークリティカルバス研究会(公開)		
15日(木)	19:00~20:45 第81回 三木会 (糖尿病、高脂血症、高血圧を語る会) [日本医師会生涯教育講座3単位認定] [日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定]	19:30~21:00 有病者歯科医療研究会	7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 代謝内科カンファレンス M
16日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
17日(土)	15:00~18:00 第222回 初期治療講座《会員制》 [日本医師会生涯教育講座5単位認定] 座長 熊本市医師会 室原 良治 「血管疾患の診断と治療」		
	1. 末梢血行障害の診断と治療 国立病院機構熊本医療センター循環器科医長 藤本 和輝 2. 大動脈解離の診断と治療 国立病院機構熊本医療センター心臓血管外科医長 毛井 純一 3. 器材供覧		
19日(月)	19:00~20:30 第112回 月曜会(内科症例検討会) [日本医師会生涯教育講座3単位認定]		8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
20日(火)	18:00~19:30 第42回 くすりの勉強会(公開)	18:00~19:30 血液病懇話会(会)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前術後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ
22日(木)	18:30~20:00 日本臨床細胞学会熊本県支部研修会	19:00~21:00 熊本脳神経疾患懇話会	7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 代謝内科カンファレンス M
23日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
26日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
27日(火)	18:30~20:30 血液研究班月例会	18:00~19:30 血液病懇話会(会) 19:00~21:00 小児科火曜会	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前術後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ
28日(水)	18:30~20:00 第90回 救急症例検討会 「腹痛」		
29日(木)			7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 代謝内科カンファレンス M
30日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
31日(土)	13:30~16:30 第110回 看護卒後研修(会費制) 「看護とケアリング」 熊本大学医学部保健学科看護基礎学教授 森田 敏子		

(会)会議室 C 病院本館2階カンファレンス 手術室控室 別6 別6病棟 外来 小児科外来 M ミーティングルーム 心リハ 心大血管リハビリテーションセンター 学校 看護学校
問い合わせ先 〒860-0008 熊本市二の丸1番5号 国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター
TEL 096-353-6501(代)内線263 096-353-3515(直通)